

鈴木修相談役がインドの国家勲章「パドマ・ビブシャン」を受章



インド内務省提供

2024 年 12 月 25 日に逝去したスズキ株式会社（以下、スズキ）の鈴木修相談役は、2025 年 1 月 25 日にインド政府より国家勲章「パドマ・ビブシャン（Padma Vibhushan）」*を受章することが発表されました。鈴木修相談役は、通商と産業の分野での顕著な貢献、特に自動車産業で日印の関係強化の功績が認められ、今回の受章に至りました。

*「パドマ・ビブシャン」はインド政府が様々な分野で卓越した貢献をした民間人に贈る最高位から 2 番目の勲章です。

なお、鈴木修相談役は、2007 年にも民間人に贈る最高位から 3 番目の勲章「パドマ・ブーシャン」を受章しています。

2025 年 4 月 28 日にインド・ニューデリーのラシュトラパティ・バワン（大統領官邸）において叙勲伝達式が執り行われ、ドロワパディー・ムルム大統領より代表取締役社長 鈴木俊宏が代理で勲章を受け取りました。

スズキは、インドの子会社マルチ・スズキ・インディア社にて、2024 年に四輪車の累計生産 3,000 万台、年間生産 200 万台を達成しました。また、1986 年に開始したインドからの四輪車輸出も累計 300 万台を超えました。

代表取締役社長 鈴木俊宏のコメント

このたび、鈴木修に名誉あるパドマ・ビブشانを授与してくださいましたムルム大統領およびインド政府に、心より感謝申し上げます。相談役も今ごろ天国にて、第二の故郷であるインドでの45年間の出来事を懐かしく振り返っていることと存じます。

この勲章をいただけたのは、スズキ並びにインドで働く従業員、そしてお取引先様のご協力があったからこそでございます。

相談役もこの受章を誇りに思っていることでしょう。私も同様に誇りに感じております。従業員およびお取引先様にも誇りに思っていただければ幸いです。

また、今回の受章はインドの皆さまがスズキを愛してくださった賜物であると思います。

私たちチームスズキの一人ひとは、相談役の思いを受け継ぎ、これからもインドの発展に貢献するとともに、インドの皆さまに愛される持続可能なモビリティソリューションを提供してまいります。

以上